

<p>【イベント名】 第5回 神戸国際内視鏡ハンズオン</p>	<p>【概要】 6月3日初日のイブニングセミナーに引き続き、6月4日及び5日の2日間にわたり、神戸医療機器開発センター</p>
<p>【期日】 2016.06.04</p>	
<p>【会場】 神戸医療機器開発センター (MEDDEC) (日本), セントルークス医療センター (フィリピン), 青島大学 (中国), メキシコ国立自治大学 医師自宅:メキシコシティ (メキシコ)</p>	<p>(MEDDEC)にて、ブタ切除臓器 (胃/直腸) および生体ブタを用いた内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) のハンズオントレーニングを行った。9名のファカルティの協力のもと、セミナーには、アジア、南米、ヨーロッパなど世界16カ国から25名の内視鏡医が参加された。参加者から、次回もぜひ参加したいと非常に高い評価を頂いた。</p>
	
<p>神戸医療機器開発センターでの会場の様子。</p>	<p>セントルークス医療センターでの会場の様子。</p>
<p>撮影場所：神戸医療機器開発センター</p>	<p>撮影場所：セントルークス医療センター</p>
	
<p>神戸医療機器開発センターでトレーニング中の参加者。</p>	<p>モニタに映し出される4地点の様子。</p>
<p>撮影場所：神戸医療機器開発センター</p>	<p>撮影場所：神戸医療機器開発センター</p>
	
<p>青島大学での会場の様子。</p>	<p>サポートを行うエンジニアの様子。</p>
<p>撮影場所：青島大学</p>	<p>撮影場所：神戸医療機器開発センター</p>